

2020年度 事業計画書

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

□ はじめに

本財団は、創立者 岡田茂吉の思想哲学に基づき、世界的な美術思想の涵養を通じて、人間の品性の向上及び平和愛好思想の醸成を図ることにより、高度の文化的芸術国家の建設に寄与することを目的とし、美術品等の収集・保存・展示・公開、美術に関する調査研究・国際交流、美術教育、芸術家養成、学術・技芸の教授・普及などの日本文化の普及昂揚に関する事業を行う。

本年度は、オリンピック・パラリンピック 2020 を踏まえ、インバウンド集客を通じて日本文化の海外への紹介に力を入れるとともに、昨年に引き続き、地域に開かれた「新しい公共性」の財団をめざし、美術教育と地元行政が進める町づくり事業を協働・推進するために幅広く意見を吸収し、地域と共に繁栄する経営基盤の一層の拡充に取り組む。

I. 美術館運営事業

1. 企画展の開催

MOA美術館は、年間 300 日程度開館し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に、テーマに沿って展示する。箱根美術館も同様、年間 300 日程度開館し、日本陶磁器を中心に展示する。

(1) MOA美術館

- ① 歌川広重 東海道五十三次
2020年3月20日(金)～4月21日(火)
- ② 北斎 富嶽三十六景
2020年4月24日(金)～5月26日(火)
- ③ 没後70年 吉田博木版画展 自然への憧憬
2020年5月29日(金)～7月6日(月)
- ④ 井上涼展 夏休み!炎のアツアツびじゅチュ館
2020年7月10日(金)～9月7日(月)
- ⑤ 琳派展(仮称)
2020年9月11日(金)～10月20日(火)
- ⑥ 茶の湯の美(仮称)
2020年10月23日(金)～12月13日(日)
- ⑦ ホモ・ファベール2020展(人間国宝展)
2020年12月19日(土)～2021年1月26日(火)
- ⑧ 名品展
2021年1月29日(金)～3月23日(火)

(2) 箱根美術館

- ① 日本および中国・朝鮮半島の陶磁の展示
- ② 現代工芸を含めた展示の企画策定と実施

(3) 館外展

- ① 鋸山美術館（千葉県富津市）
2020年5月23日（土）～6月21日（日）
- ② 羽田空港 黄金の茶室 特別展示
2020年8月7日（金）～8月11日（火）
- ③ 掛川二の丸美術館（静岡県掛川市）
2020年10月17日（土）～11月15日（日）

2. 賛助会員（友の会）の募集・拡大

「友の会」会員に、季刊誌「美の友」頒布（年4回）や「友の会手帳」の頒布等のサービスの充実を進めて、「友の会」会員の増加に努める。

3. その他

- (1) 美術品画像データ等の作成、貸出と意匠の許諾など

II. 表彰・コンクール事業

1. 第32回MOA美術館児童作品展

子どもたちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培う事を目的とした表記の全国展を開催し、表彰と展示を行う。併せて、その前に各地で行なわれる地方展への支援（参加賞の提供など）を行う。

(1) 選考方法

- ① 全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定する。
(昨年度実績：409会場、応募数439,893点、参加校9,086校)
- ② 地方展で選ばれた各会場最優秀作品は、MOA美術館での全国展審査会において、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等により文部科学大臣賞などの各賞を決定する。

(2) 賞の種類と点数

- ① 絵画の部（昨年度実績）
 - a) 文部科学大臣賞 6点
 - b) 外務大臣賞 3点
 - c) 厚生労働大臣賞 1点
 - d) 農林水産大臣賞 1点
 - e) 環境大臣賞 1点
 - f) 日本PTA全国協議会会長賞 1点

- g)全国子ども会連合会会長賞 1点
- h)ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
- i)審査員賞 2点
- 金賞から入選 203点
- ② 書写の部（昨年度実績）
 - a)文部科学大臣賞 6点
 - b)厚生労働大臣賞 1点
 - c)農林水産大臣賞 1点
 - d)環境大臣賞 1点
 - e)日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - f)全国子ども会連合会会長賞 1点
 - g)ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - h)審査員賞 1点
 - 金賞から入選 67点
- ③ 団体の部（昨年度実績）
 - a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校
 - b) 厚生労働大臣賞 2点

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

2021年1月31日（日）、MOA美術館“能楽堂”において表彰式を行うとともに、MOA美術館“円形ホール”に於いて「MOA美術館全国児童作品展」を開催する。

- (4) 児童作品を通しての国際交流展の開催（日米交流展5月、日タイ交流展9月予定）

2. 芸術選奨

(1) 賞の交付

- ①日本伝統工芸会東日本支部 MOA美術館賞
- ②日本伝統工芸展 MOA美術館賞
- ③日本伝統漆芸展 MOA美術館賞
- ④伝統工芸日本金工展 MOA美術館賞

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

MOA美術館茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭で実際に茶庭・茶室・茶道具等に触れて抹茶を点でて喫する茶の湯、いけばな等のワークショップを通して日本文化を体験する事業を行うとともに、茶道文化に接する機会を増やすため当館及び外部での茶会などを開催する。

(1) 茶会

- ① 光琳乾山忌茶会（来年に延期）

(2) 能楽教室 体験・講座と鑑賞 (2020年8月18日(火))

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及や情操教育、地方創生を目的とした、能楽堂における演能会や舞踊公演などの伝統芸能および音楽会等、芸術鑑賞会の開催。

(1) 熱海座 (熱海市および熱海市観光三団体共催公演)

①坂東玉三郎 舞踊公演

2020年5月12日(火)、13日(水)、15日(金)、16日(土)、17日(日)

会場：能楽堂

坂東玉三郎(踊り)、富山清琴(地唄)、杵屋勝国(長唄)他

②観世清和演能会 (芸術文化振興基金助成申請中)

2020年5月30日(土)

能 観世流「葵上」 観世清和

狂言 大蔵流「文山立」 山本泰太郎

(2) 演能会

2020年11月29日(日)

能 宝生流「絃上」 辰巳満次郎

狂言 和泉流「棒縛」 野村万蔵

(3) 初春の舞

2021年1月1日(金)

会場:メインロビー

出演:熱海芸妓置屋連合組合

(4) 新春獅子舞

2021年1月2日(土)・3日(日)

会場:能楽堂

出演:横浜関嚙子保存会

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ

① 花の美を楽しむ中から情操を養い、生活をより美しくし、豊かな生き方ができることを願いとして、いけばなの講座を実施する。

② 創立者の願いである生活の芸術化を具体化するべく、光輪花クラブにおいて美術品、短歌、茶の湯等の学びを取り入れたテキスト、カリキュラムに改訂し、「美的生活コース」「芸術コースⅠ」に続き、本年は「芸術コースⅡ」を開講する。

③ 花サロン

生活の器を工夫していけばなの楽しみ方を提案する6回型の光輪花講習会を開催し、光輪花クラブ入門コースとしての役割を持たせる。

④キッズ光輪花クラブの開設

光輪花クラブの子供用のカリキュラム、制度、テキストを作成し、「キッズ光輪花クラブ」を開設する。

⑤ MOA美術文化インストラクターの拡充

光輪花クラブを主催するインストラクターの拡充を図るため、新規インストラクター資格審査、及びインストラクターの資質の向上を図る研修会を定期的に行う。また毎年全インストラクターを対象にした更新研修を行う。

⑥ 光輪花クラブ開講インストラクターへの支援

光輪花クラブを開講するインストラクターへの支援として、規準に基づいた経費補助を行う。

⑦ 光輪花クラブを広報するためのいけばな展の開催、及び各種いけばな展に参加する。

⑧ 光輪花クラブを中心とする美術文化活動の推進会合を定期的に行う。また、推進チーム員の資質向上を図るための研修会を行う。

V. 育成事業

青少年の健全な心と体の育成に資するために、美術教育の普及に努める。また美術文化活動の牽引役となる青年人材を育成するための研修を行う。

1. 美術教育

(1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

- ① 小中学校への出張授業の推進
- ② 小中学校における図画工作・美術科授業への教材の提供と開発協力
- ③ 静岡県及び内外における美術教師とのネットワーク構築

(2) 日本工芸会と共催した工芸家のアウトリーチ授業の実施

(3) 版画「東海道五十三次」を活用した出張美育セミナーの実施

(4) 美術品の鑑賞手引き

- ① 小中高生を対象とした展覧会ガイド
- ② 教職員対象のセミナーなど

(5) いけばな・茶の湯の体験コースの実施

- ① 幼児および小中高生を対象としたプログラム
- ② 教職員を対象としたプログラム

- (6) 中学生や高校生の職場体験学習の受入れ
- (7) 美術文化活動の牽引役となる青年人材の育成
青年インストラクターの輩出など、美術文化活動の牽引役となる青年人材を育成するユース研修を実施する。

2. アートボランティア研修

ボランティア育成の場として研修や講演会などの実施

(1) アートボランティアの日

開催日時 2020年11月頃 (MOA美術館 能楽堂)

(2) 新規アートボランティア研修

開催日時 2020年11月頃 (MOA美術館 スタジオ)

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

- (1) 顧客満足循環型経営への改善
- (2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など
- (3) コスト削減と自立経営に向けた経営改善の遂行
- (4) 寄付金制度（ファンドレイジング）の推進

2. 入館者増加をめざした取り組み

- (1) 展覧会やイベントに焦点をあてた広報・営業活動の推進
- (2) 地元住民に開かれた美術館に向けての取り組み
- (3) ホームページやSNS等による広報の充実
- (4) 多様な決済手段への対応による来館者の利便性向上、キャッシュレス化推進
- (5) 海外広報用ビデオの制作
- (6) インバウンド対応力向上等、職員の能力・資質を高める取り組み
(英会話研修の実施、意識づくりのためのワークショップ等)

3. 施設の貸与事業

伝統文化の普及啓発を推進するため、当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人に対して積極的に茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などの施設貸出を行う。

(1) 光琳茶会 (2021年2月22日・23日) MOA美術館 茶の庭

(2) 能楽堂貸出

公益に資する事業への貸出を行う。

- ① 2020年8月5日 静岡県教育研究会
- ② 2020年9月30日 熱海安全運転管理者講習会
- ③ 2021年1月 熱海市成人式及び熱海市PTA連合会主催行事
- ④ 2021年1月頃 熱海防災講演会 他

4. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) 美術館の安全確保に向けた対策

- ①施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修
- ②美術館の防災、防犯の設備強化（緊急用食料・防寒具等の備蓄）
- ③危機管理体制の整備・強化
- ④円形ホール照明・演出等の改善
- ⑤箱根美術館切符売場の改修の検討
- ⑥レストランの改修

(2) 美術品保存に伴う展示環境及び展示方法の改善と実施

- ① 展示の研究と実施

(3) 植樹をはじめ、庭園の改善整備

5. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

(2) ミュージアムショップ（店舗及びオンライン）及び飲食施設の運営

以上